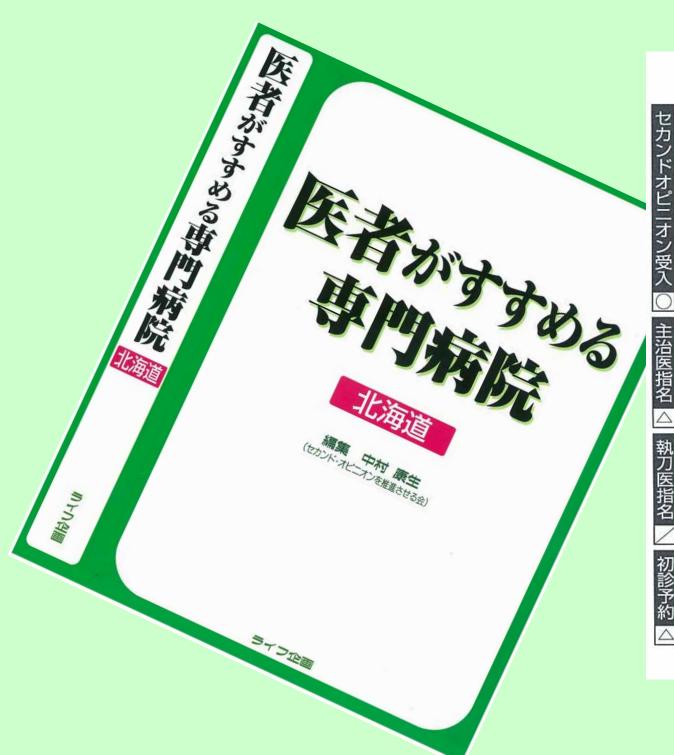
『医者がすすめる専門病院』(平成22年5月15日刊)

が紹介されました に当院



釧路労災病院 内科

釧路市中園町 13-23

2 0154-22-7191

宮城島拓人☆(消化器内視鏡、化学療法)、小田寿☆(胆膵 栄養)、山本純司☆(消化器内視鏡)、小西康平☆(消化器)ほか、常勤 医6人、後期レジデント1人、非常勤医1人。

1959年生まれ。 部卒、同大学院

宮城島 拓人

消化器外科とタイアップして消化器病センターを構成、道東

での消化器病診療の中心的な役割を担っている。特に消化器がんの診断治療に積極的で、早期 がんの内視鏡的治療や腹腔鏡下治療、進行がんに対する化学療法や放射線治療などの集学的治 療を得意とする。また北大第3内科の関連施設としてヘリコバクター・ピロリ菌関連疾患とそ の治療、消化器がん化学療法の全国的治験にも積極的に参加している。

内科としての1日平均外来数は250人、1日平均入院患者数は135人。その うち消化器系疾患は70%強であるが、消化器がんのみならず肺がん、リンパ腫などの化学療法 も積極的に行っている。08年度の年間の消化器内視鏡施行数は5,245件(うち大腸内視鏡施行 数は1.789件)。腹部超音波検査数は2,698件、超音波内視鏡検査数は230件、膵胆道系の内視 鏡処置件数は150件、経皮経肝的胆道ドレナージ術件数は38件、肝がんに対する動脈塞栓術は 64 件。また早期胃がん、食道がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)は2年半で100 例を 超えた。穿孔は2例に認めたが完全切除率は100%。厚労省 DPC データに基づく病院の診療 実績(08年度版)によると、食道がんの症例は1カ月7.5症例で道内4位、肝・肝内胆管の悪性 腫瘍は1カ月19.3症例と道内8位の実績を示している。大腸がん、胃がん、膵がん、胆管がん などの外来化学療法は1カ月平均120件で、積極的に外来治療を活用している。ヘリコバク ター・ピロリ菌の除菌はガイドラインに基づいて施行し、初回除菌率は80%。

MRI、MDCT、DSA、半導体レーザー、アルゴンプラズマレーザー、超音波カラー ドプラ、電子内視鏡、超音波内視鏡。

月~金。受付は午前7時45分~11時。セカンドオピニオンは要電話予約。